

動物培養細胞用 ATP 標準試薬 (AP-E103)

取扱説明書

I. 製品構成	2
II. 使用方法	2
III. 関連製品	2
IV. 使用上の注意	3

保存温度	-20°C
使用期限	外箱に記載

I. 製品構成

製品名	メーカーコード	構成
動物培養細胞用 ATP 標準試薬	AP-E103	ATP 標準試薬 (1mM, 1ml)

II. 使用方法

☞ 一度の測定で使い切らない場合は、必要量ずつ小分けにして-20℃で保存し、凍結融解をできるだけ避けることをお勧めします。

III. 関連製品

製品名	メーカーコード	構成	保存条件
『組織の』 ATP 測定キット	TA100	・ATP 発光試薬 (凍結乾燥品) ・発光試薬溶解液 (12ml) ・ATP 抽出試薬 (24ml) ・ATP 標準試薬 (1×10^{-7} M, 5ml)	-20℃ ※調製後の発光試薬 は-80℃
『血液の』 ATP 測定キット	BA100	・ATP 発光試薬 (凍結乾燥品) ・発光試薬溶解液 (12ml) ・血液希釈液 (5 倍濃 50ml) × 2 本 ・ATP 抽出試薬 (24ml) ・ATP 標準試薬 (1×10^{-7} M, 5ml)	-20℃ ※調製後の発光試薬 は-80℃
Intracellular ATP 測定キット Ver.2	IC2-100	・ATP 発光試薬 (凍結乾燥品) ・ATP 発光試薬溶解液 (12ml) ・ATP 抽出試薬 (12ml) ・ATP 標準試薬 (1×10^{-3} M, 1ml)	-20℃ ※調製後の発光試薬 は-80℃

IV. 使用上の注意

- ご使用前に必ず安全データシート(SDS)をお読み下さい。
- 本製品を研究用途以外には使用しないで下さい。
- 日本国内のみで使用して下さい。
- 使用期限と保存条件を必ず守って下さい。
- 本製品を火気に近づけないで下さい。
- 本製品の廃棄は、お客様の施設の廃棄ルールに従って処分して下さい。
- 本製品に使用する他の試薬・器具・機械は、使用前に必ず各々の使用説明書をよく読み、その指示に従って調整・準備を行って下さい。
- 本製品に使用する他の試薬・器具は必ず滅菌して下さい。
- 材質によっては、試薬の付着により腐食・変色する場合があります。試薬が付着した器具・機械は蒸留水でよく洗浄して下さい。
- 試薬類を誤って飲み込んだ場合は、応急処置として水を飲ませ、直ちに医師の診断を受けて下さい。
- 手袋、保護メガネ等により適切な身体保護を施し、試薬類の身体への接触を避けて下さい。試薬類が目に入った場合や皮膚に付着した場合は、応急処置として水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けて下さい。
- その他、不明な点がございましたら、下記問い合わせ先までご連絡ください。

問い合わせ先

東洋ビーネット株式会社
〒104-0031 東京都中央区京橋二丁目 2 番 1 号
E-mail: b-net.bio@artiencegroup.com
HP: <https://artiencegroup.com>